

令和6年度 園経営計画 足立区立第三上沼田保育園

園長 谷川 さゆり

1 園の経営目標

- (1) 一人一人の子どもの最善の利益を尊重し、心も体も丈夫で豊かな感性と意欲を育む。
- (2) 保育者は、子ども主体の保育を実践し振り返り、学び合い、専門性を向上する。
- (3) 家庭や地域とつながり、共に育ち合い子育て支援の拠点として役割を果たす。

2 園の現状

- (1) 子どもは、広い園庭で主体的に身体を動かす心地よさを感じ、運動遊びを楽しんでいる。
また、自然に触れ、考えたり試したりして自然物を遊びに取り入れた体験を重ねている。
- (2) 保育者は、子ども一人一人に寄り添い受容的に関わり、安心できる保育環境を大事に、子どもの発達や個々に応じて、興味や関心の広がる遊びの環境を工夫している。
- (3) 保護者は、園運営への関心も高く協力的で園行事への参加者も多い。
- (4) 保育園は、子どもの育ちを支えるため、近隣の学校や図書館、専門機関と連携している。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項-1	子どもが自ら意欲をもって、体を動かす運動遊びを楽しめるようにする。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 発達や興味に応じ、わくわく、ドキドキ、チャレンジしてみたい環境を工夫する。	ア 保育計画に「36の動き」「体のバランス」「移動する動き」「用具を操作する動き」を取り入れていく。 イ 手や指を使った細かい動作(微細)の運動や遊びを取り入れ、家庭にも発信していく。
(2) 子どもと共に体を動かす遊びをつくり、動きのバリエーションを増やす。	ア 子どもからの発想を尊重し、共感と応答を大事にしながら、遊びの中で多様な動きを取り入れていく。
重点的に取り組んでいきたい事項-2	子どもの感性と表現力を豊かに育む。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 子どもや保護者が絵本との出会いを楽しめる場を増やす。	ア 絵本をじっくり読めるコーナーをクラスや廊下、ホールなどに増設し、読みたくなる環境を工夫する。 イ 保護者向けに絵本に関わる話を年3回以上行い、絵本の講習会を年1回実施する。
(2) 歌や音楽に親しみ、表現することを楽しむ。	ア 季節に合った心地よい歌声が響き合う保育を実践する。 イ 子どもの音遊びや職員演奏会を年2回以上実施する。
重点的に取り組んでいきたい事項-3	多様性を尊重する保育を推進する。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 子どもが安心して自己発揮できる環境をつくる。	ア 温かい受容的な雰囲気と肯定する気持ちを言葉や態度で子どもに伝える。
(2) 生命の安全教育について家庭と連携し、推進する。	ア 自分が大切にされていることや友達が大切であるという実感がもてるようにする。 イ 絵本や区の冊子を活用し、保護者会や面談等で家庭に発信していく。